

DG-5 カナダデジタル政府戦略 5 月

デジタルガバナメント:カスタマーからパートナーへ

・デジタル化の目的は人々の生活の質を向上させること。

カナダデジタル政府戦略(2017-2021)

カナダは世界のデジタル社会のリーダーを目指している。そのため、国をあげてのプロジェクトが [Digital Canada 150](#) である。

このプロジェクトは政府 ([Government of Canada:GC](#)) が、すべてのカナダ人に将来のために必要なデジタルスキルとツールを提供するための包括的な計画である。デジタルデバイドをつくらない。カナダ人をオンラインでつなぎ (1) 保護するための措置を講じる (2) カナダの企業にグローバルなデジタル経済の機会を提供する (3) [デジタル政府](#) を世界のリーダーにする (4) [カナダのコンテンツをオンラインで保存し共有する](#)。

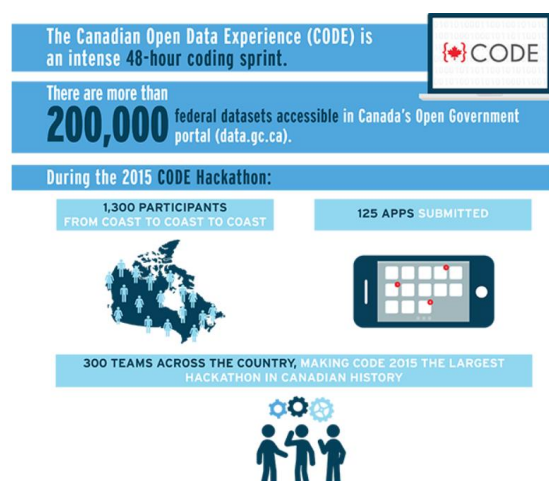


図 1 オープンデータ[エクスペリエンス](#)

このプロジェクトはカナダ誕生 150 年の 2017 年 [Canada's 150th birthday](#) に開始した。この[デジタル政府戦略](#)は 2016 年 6 月に発表した戦略を [Digital Canada 150](#) の[デジタル政府](#)に合わせて 2017 年 11 月に改定した。この戦略は財務省長官 [Secretary of the Treasury Board](#) が責任者となって、42 の各省の副長官、CIO、情報管理の上級管理職、その他の関係者の意見を参考にして、デジタル政府に関する政府全体の戦略的方向性を設定する。IM (Information Management) -IT (Information Technology) (情報技術) サービスを提供する責任は、政府機関と [Shared Services Canada \(SSC\)](#)、[Public Services and Procurement Canada \(PSPC\)](#) などの中央サービスプロバイダ ([バックオフィスサービス](#)) が共有している。これは 2018 年から 2019 年の会計年度に向けて現在開発中のデジタル政策とデジタル政府戦略の暫定的な一歩である。開発手法の[エンタープライズアプローチ](#)をサポートするため、新しい [GC](#) エンタープライズアーキテクチャーレビューボード ([GC EARB](#)) を設立し、政府全体を 1 つの企業としてビジョンを推進する。

ビジョン

[GC](#) は、いつでも、どこからでも、どのデバイスからでも、デジタルと利用可能に最適化されたシンプルで現代的で効果的な方法で市民や企業にプログラムやサービスを提供する、オープンでサービス指向の組織にする。そしてデジタル的には、[GC](#) はすべてのカナダ人に利益をもたらすために一体となって機能する。

・ [デジタルサービス](#)

情報とデータの管理、サイバーセキュリティは、[GC](#) デジタルサービスの実現に不可欠であり、このビジョンを達成する上で重要な役割を果たす。

・ [オープンでアクセス可能](#)

経済的機会を生み出し、政府活動における信頼と関与を高めるために、情報とデータが利用可能で、アクセス可能で、積極的に公開する

・ [セキュリティ](#)

インターネット接続されたネットワークの脅威を軽減するためにインターネットの入り口で先行検査 (proactive measure) を実施し、政府が保有する情報へのアクセスの監視を強化することにより、サイバーセキュリティや IT の老朽化に関するリスクを軽減する。

・ [デジタル政府プロジェクト運営](#) (企業運営)

運営は政府を一つの企業として取り扱い、投資の目標を達成するには、ソリューションまたはプロジェクトを定義して導入する前に早期に投資コンセプトのケースを検討し、早期の関与と方向設定を可能にし、[GC EARB](#) による定期審査を行う。リスクの高いプロジェクトへの投資については、財務省 [TBS](#) はプロジェクトの存続期間を通してパフォーマンスとガバナンスを監視し、報告する。

・ [コミュニティ](#)

デジタルサービスを向上させるために、強力な CIO のコミュニティを創る。

・ [職場](#)

公共サービスを向上させるために、連邦政府職員の職場を高度に統合されたデジタル環境に整える。

ミッション

[IM/IT](#) は連邦政府のデジタル政府戦略を実施する。そのために各政府機関のパートナー、ステークホルダー、さまざまなレベルの政府機関と協力しながら、以下の努力をする。

- 政府機関の職場にデジタル価値を加える。
- 事前のリスクとエビデンスに基づく意思決定を行う。
- カナダ人のためのより良いプログラムとサービスに貢献する。
- イノベーションの機会を創造する。

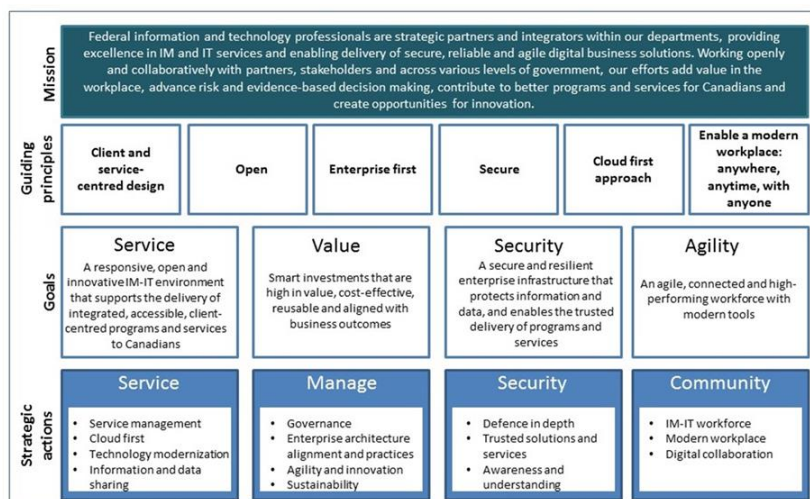


図 2 [IM/IT](#) のデジタル政府戦略のフレームワーク

基本原則

原則 1: クライアントとサービス中心の設計

[GC](#) ソリューションとサービスは、クライアント中心のエンドツーエンドのデジタルサービスの観点から設計し、クライアントがクライアントにもたらす価値を高めることが出来ること。

原則 2: オープン

[GC](#) の情報とデータは[デフォルト](#)で公開されており、以下のことが保証されること。

- 情報とデータはできるだけ国民に公開する
- 新しいプロセスは、[デフォルト](#)で政府のデータと情報を積極的に公開し、アクセスを容易にすること。
- 政策、プログラム、サービスの設計に積極的に参加すること。
- 国民は政府から相談され、政府の決定に参加すること。
- 職員はオープンであること。

原則 3: エンタープライズ・ファースト

各政府機関は共通の基準、アプローチ、方向性に則って、プロセス、データ、契約、ソリューションなどの既存の政府資産をアクセラレータとして使用すること。

原則 4: 情報安全

[GC](#) 情報は、セキュリティ、プライバシー、機密保護のために保護し、漏れを防ぐために監視し、次世代のために保護すること。

原則 5: クラウドファーストアプローチ

各政府機関は、機関内のソリューションを開発する前に、「サービスとしての」([XaaS](#))クラウドサービスを検討すること。これには、プライベートクラウドとパブリッククラウドの両方を検討すること。

原則 6: 現代の職場を可能にする: 誰とでもいつでもどこでも

[GC](#) は次のような革新的な組織を目指すこと。

- 必要なときにいつでもどこからでも情報とデータにアクセスできるようにすることで、情報の検索、使用、共有、コラボレーションをサポートする最新のテクノロジーを職員に提供する。
- ユーザーの学習を最小限に抑えたカスタマイズ可能なツールとリソースを提供する。
- より良いサービスをサポートする自動化されたデジタルプロセスを提供する。
- 職員がよりスマートに働き、革新的で環境に優しく健康的に働き、カナダ国民に奉仕することができるようにする。

戦略目標

戦略目標 1: サービス

対応の早い、オープンで、革新的な IM - IT 環境で、統合されたアクセスが容易なクライアント中心のプログラムとサービスをカナダ国民に提供し、

- アーキテクチャと計画を「政府全体を 1 つの企業としてビジョン」に整合させる。
- 情報管理のプロセスとシステムを簡素化し、オープンで、効率的であることを保証し、政府職員の負担を軽減する。
- [IM - IT](#) サービスの提供を「1 つの企業体アプローチ」で継続する。
- プログラムやサービスの提供の改善には人工知能やブロックチェーンなどエマージングテクノロジーを積極的に採用する。

戦略目標 2: 価値

スマートな投資で、価値が高く、費用効果が高く、再利用可能なビジネス成果をあげる。

- リソース、ツール、プロセス、システムの一括使用を促進する。
- 一般的なビジネスニーズに対応するエンタープライズ・ワイド・ソリューション（アプリ）を開発する。
- [IM - IT](#) システムとインフラの持続可能性を確保する。
- データガバナンスと説明責任を強化する。
- 可能であれば、より[アジャイル](#)な調達アプローチを採用する。

戦略目標 3: セキュリティ

安全で復元力のある[エンタープライズインフラストラクチャ](#)で、情報とデータを保護し、プログラムやサービスの信頼できる提供を可能にする。

- セキュリティ対策を強化してリスクを最小限に抑える。
- 政府ネットワークのより一貫した管理を提供する。
- 個人情報や機密情報を保護する。
- [サイバーセキュリティリスクの認識](#)を広げる。

戦略目標 4: 敏捷性

現代的なツールを備えた、機敏で、つながりがある、優れたワークフォースを創設する。[agility](#)

- 高度に熟練した多様な情報管理・技術の才能を引きつけ、保持する。
- [モビリティ](#)をサポートする高度な職場を提供する。
- [デジタルリテラシーとコラボレーション](#)を促進する。
- 情報を戦略的資産として活用する新しい事例、プロセス、ソリューション（アプリ）のパイロッ

トプロジェクトを実施する。

- 現在のデータと情報の専門家がどのように、現在および将来のビジネスニーズを満たすのに役立つかを再考する。

実施計画

この計画は、2016 年から 2020 年まで 75 の計画である。現在、実施計画が確立したのは47までで、新たな戦略的行動の番号付けは 48 番から始まる。これらのうちのいくつかは、完全に実施するために追加の承認または資金提供が必要な場合がある。

この実施計画は次号。